

中学校生活がスタートしました！

4 月 7 日（月）、新しい制服に身を包んだ 91 名の新入生を迎え、令和 7 年度の高松中学校がスタートしました。入学式では緊張した中にも、希望に満ちあふれた新入生の表情がとても印象的でした。新入生を代表して櫻井弓月さん（高松小出身）が力強く誓いの言葉を述べてくれました。これからは、「チーム高松」の一員として、1 日も早く中学校生活に慣れ、自分自身を成長させていってほしいと願っています。わたしたち 1 学年職員はもちろん、全職員でサポートしていきます。保護者の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。みなさんの成長を楽しみにしています。



◇皆で高め合う学年に！

4 月 9 日（水）に学年集会を行い、1 年学年スタッフの紹介、中学校の生活と学習、校外学習についての確認を行いました。その中で、次のことを共通理解しました。

「皆で高め合う学年に！」「皆で」は、生徒だけでなく、先生や地域の方々も含みます。「高め合う」は、仲良くするだけでなく、個と全体の「成長」を表します。そのために、4 つのことを約束しました。

1 相互尊重

「尊重」とは、友達の意見や感情、状況を受け入れることです。誰もが安心して意見を言える環境を作りましょう。他の人が話しているときに注意深く聞いたり、自分と違う意見の人とも建設的な話し合いをしましょう。

2 協力とチームワーク

自分の得意分野を生かすことで、お互いに助け合いましょう。学校行事や学級のグループ活動で積極的に役割を担っていきましょう。また、困っている人に声をかけ、手を差し伸べましょう。

3 コミュニケーション

良好なコミュニケーションは、より良い関係を生み出します。オープンで正直なコミュニケーションを心がけましょう。そのために、相手に配慮したコミュニケーションスキルを身につけていきましょう。

4 ポジティブな態度

ポジティブな態度は、集団の雰囲気良くし、前向きなエネルギーを生み出します。失敗を恐れず、挑戦を楽しむ姿勢が大切です。失敗は、挑戦したことの証です。成功から学ぶことより、失敗から学ぶことの方が多いです。次へのステップになるよう、失敗を生かしていきましょう。

仲間とともに成長し、お互いを支え合うことによって、個人としても集団としても向上することを目指しましょう。



◇前期学級役員(プログラム委員)の紹介！

| | |
|-----------------|--|
| 岡田 勝 1組学級代表 | 皆が過ごしやすい、楽しいと思えるクラス・学年にしたいです。 |
| 香林 茉優 1組学級代表 | 私は、入学式に生徒会長が言った「日本一の中学校を作る」を実現させるために、まずはこの1年生を日本一にできるように頑張ります。 |
| 榊原 快翔 1組書記 | 「何事も経験」をモットーに積極的に頑張ります。 |
| 丸岡 夕夏 1組書記 | いろんな行事や活動を通して、みんなが楽しめるような事を考えて盛り上げたいです。 |
| 金谷 虹希 2組学級代表 | 「リーダー」だと思われるように本気で頑張りたいです。 |
| 平居 加帆 2組学級代表 | 明るい学校、学年にするために、声掛けや話し合いを積極的に行い、学級代表とみんなに認めてもらえるように頑張ります。 |
| 林 孝弥 2組書記 | 1年を盛り上げれるよう頑張ります。 |
| 岡田 花凜 2組書記 | 校訓の「責任を果たせ」を学年のみんなが果たせるように学級代表をサポートしていきたいです。 |
| 釜井 陽向 3組学級代表 | 生徒の意見をしっかり聞きながらみんなを引っ張りこのクラスを学年で一番明るく楽しい学年にしたいです。 |
| 櫻井 弓月 3組学級代表 | プログラム委員長として学年、学校を明るくより良い物にしたいです。そのために、リーダーとして頑張りたいと思います。 |
| 春田 亮晴 3組書記 | 元気で明るいクラスや学校を作っていきたいです。 |
| 水田 優子 3組書記 | 学級代表をサポートしたりクラスをまとめたいです！ |



前期学級役員（プログラム委員会）



1年1組



1年2組



1年3組

◇「総合的な学習の時間」が始まりました！

4月9日（水）に「総合的な学習の時間」のオリエンテーションをおこないました。高松中学校では、「総合的な学習の時間」のことを「FT」と呼んでいます。これは、Future Time、Furusato Time の頭文字のFとTから作られています。この時間の中では、「未来にどうなっていたらいいか？」「自分たちの暮らすふるさととはどのようなところなのか？」について考えます。自分で課題を設定し、調べたり人に聞いたりして、自分なりの答えを探していく学習に取り組みます。これを「探究学習」と言います。

◇「探究学習」とは？

1 なぜ今「探究学習」が必要なのか？

今、ブーカの時代（VUCA時代）になっています。VUCAとは、変化が激しく将来の予測が困難な状況を指す言葉です。その特徴は以下のものです。

変化（Volatility）が激しく不確実（Uncertainty）である。
複雑（Complexity）で曖昧（Ambiguity）な状況である。
気候変動や大規模災害、AI技術の進化などによる社会・経済の不確実性の高まりが顕著である。



そして、このような時代に求められる力は以下のものです。

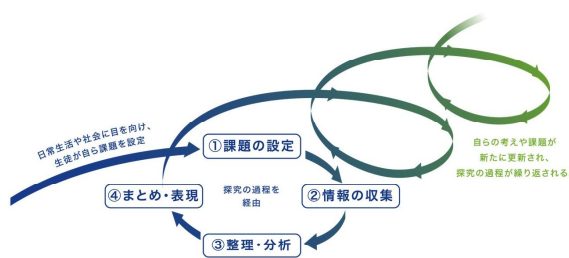
- ①必要な情報を集め、使いこなす能力
- ②仮説を立て、確かめる能力
- ③行動力
- ④コミュニケーション能力

そのため、身近に見つけた「課題」を「自分ごと」として考えていく必要があります。

「他人ごと」として考える人
・〇〇のせいだ/〇〇が悪い
・自分には無理
・〇〇が何とかしてくれる



「自分ごと」として考える人
・何とかしたい！
・自分にできることは？
・どのように貢献できるだろう？



2 ゴールは何か？

それは、**ウェルビーイング（Well-being）**です。ウェルビーイングは、well（よい）とbeing（状態）からなる言葉です。世界保健機関（WHO）では、ウェルビーイングのことを「個人や社会のよい状態」と定義しています。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定されると紹介しています。

自分が大切にしたいウェルビーイング、他者が大切にしているウェルビーイング、地域が大切にしているウェルビーイングについて、「FT」だけでなく、「道徳」「学活」や各教科の中でも、教科横断的に、そして多面的・多角的に考えていきます。授業だけでなく、学校行事を含めた学校生活全般を通して、生徒一人一人の「生きる力」を育てていきたいと思っています。



ウェルビーイングの内容の一例 →

◇「かほく市の幸せを考えてみよう！」（4月9日）

「今、あなたは幸せですか?」「今、ふるさと（かほく市）は幸せですか?」という質問に始まり、次のような活動をしました。

- ①ふるさと全員にとっての幸せのために、「〇〇がある」「〇〇がない」という形でふせんに書き出そう！
- ②あると幸せなものをピンク、ないと幸せなものを水色のふせんに書こう！
- ③4～5人で、ふせんの内容が似ているもの同士を模造紙に貼り、グループを作ろう！
(どれとも似ていないものは、1枚でOK)
- ④まとめたふせんをペンで囲んで、見出しを付けよう！
- ⑤ふせんの言葉を使ってまとめの文章を書こう！
「かほく市がどうなったら幸せなのか？」「そのために私たちにできることは？」

みんなで話し合い、たくさんのキーワードや意見が出ました。それらのキーワードが本当なのかどうかを実際に自分たちの目で確かめていきます。これが「探究学習」のスタートになります。

「知る」→「考える」→「行動する」といったサイクルの中の「知る」ことから始めます。「学年全体で」「グループで」「個人で」おこなっていきます。まずは、「学年全体で」皆さんが出したキーワード「美しい自然」「海岸」「ポイ捨て」を調査してみましょう。よって、5月13日（火）【予備日：5月15日（木）】に海岸清掃を実施します。「かほく市の海岸はきれいなのか？」「なぜきれいに保つ必要があるのか？」「今後私たちにできることは？」など、自分の目で確かめ、考えてみましょう。

